



薬局通信 第136号



大阪母子医療センター

新規試用または採用、採用区分が変更になった医薬品一覧

新規試用医薬品	新規院外専用医薬品
① デュピクセント皮下注 300mg、200mg シリンジ	① ボグリボース OD 錠 0.3mg 「武田テバ」
新規採用医薬品	② 【般】ボグリボース口腔内崩壊錠 0.3mg
なし	③ ジュンコウ 加味逍遙散 FC エキス錠 (医療用)
試用医薬品の延長	④ ツムラ治打撲一方エキス顆粒 (医療用)
なし	⑤ タバリス錠 100mg、150 mg
新規患者限定医薬品	⑥ サムスカ OD 錠 30mg
① サムスカ OD 錠 15mg	⑦ オルミエント錠 1mg、2 mg、4 mg
② モルヒネ塩酸塩水和物「第一三共」原末 (麻薬)	⑧ ネフィー点鼻液 1mg、2mg (e-ラーニング必要、医師限定)
③ ジクトルテープ 75mg	⑨ 【般】エプレレノン錠 25mg
④ セルトラリン錠 50mg 「トーワ」	
⑤ トレムフィア皮下注 200mg シリンジ	

【般】の付いた品目は、一般名処方加算の対象となり、銘柄を指定せずに医薬品の処方が可能です。

切替となった医薬品

No	削除薬品名	理由	代替薬名
院内			
1	ソビラックス眼軟膏 3%	院内採用薬の先発薬から後発品への切替え	アシクロビル眼軟膏 3% 「ニッター」
2	ビムパットドライシロップ 10%	院内採用薬の先発薬から後発品への切替え	ラコサミドドライシロップ 10% 「JG」
3	ビムパット錠 50mg	院内採用薬の先発薬から後発品への切替え	ラコサミド錠 50mg 「JG」
4	プレタール OD 錠 50mg (患者限定薬)	院内採用薬の先発薬から後発品への切替え	シロスタゾール OD 錠 50mg 「サワイ」
5	イーフェンバカル錠 50 μg (麻薬)	販売中止のため	剤型違い：アブストラル舌下錠 100 μg (麻薬)
6	ピコブレップ配合内用剤 効能効果：大腸内視鏡検査及び大腸手術時の前処置における腸管内容物の排除	販売中止のため	同一成分の代替薬なし 同効薬：サルブレップ配合内用液 効能効果：大腸内視鏡検査時の前処置における腸管内容物の排除 (大腸手術時の前処置には使用できません)

7	注射用水 PL「77-」100mL（開栓用ダブル）	販売中止のため	注射用水 100mL（細口開栓型）
8	エポジン注シリンジ 3000 【効能効果】 ・透析施行中の腎性貧血 ・透析導入前の腎性貧血 ・貯血量が 800mL 以上で 1 週間以上の貯血期間を予定する手術施行患者の自己血貯血 ・未熟児貧血	販売中止のため	同一成分の代替薬（エポジン注シリンジ 750）は出荷制限のため入手不可 同効薬：エポエチンアルファ BS 注 750 シリンジ「JCR」（3000 規格は出荷制限のため入手不可） 【効能効果】（効能効果に相違があるので注意） ・透析施行中の腎性貧血 ・未熟児貧血
9	エスポー注射液 750 【効能効果】 ・透析施行中の腎性貧血 ・未熟児貧血	販売中止のため	同上（効能効果は同じ）
10	ザジテンドライシロップ 0.1%	販売中止のため	ケトチフェン DS 小児用 0.1%「サワイ」
11	ケイキサレート散	販売中止のため	同一成分の代替薬なし 同効薬：カリメート散
12	ケンブラン吸入粉末溶解用 100mg（患者限定薬）	販売中止のため	プロボコリン吸入粉末溶解用 100mg
13	ケイキサレートドライシロップ 76%（患者限定薬）	販売中止のため	同一成分の代替薬なし 同効薬：カリメート散
院外			
1	テルネリン顆粒 0.2%	販売中止のため	既採用の同一成分：テルネリン錠 1mg（粉碎可）
2	ジクロフェナク Na テープ 30mg「トーフ」	販売中止のため	ジクロフェナクナトリウムテープ 30mg「テイコク」
3	プロチアデン錠 25	販売中止のため	同一成分の代替薬なし 既採用の同効薬：トリプタノール、アナフラニールなど
4	アヘン散「タケダ」	販売中止のため	代替薬は不要（関連診療科に確認済み）
後発薬のメーカー変更			
1	ピソプロロールフマル酸塩錠 0.625mg「DSEP」（患者限定薬）	期限切迫時に移譲するため他の 5 病院と同じ販売会社にするため	ピソプロロールフマル酸塩錠 0.625mg「トーフ」
院内採用から院外専用薬に変更			
1	ツムラ柴苓湯	不動薬のアンケートにより院外専用薬に変更	
2	セフジニル小児用細粒 10%「SW」	経口セファロスポリン（第 3 世代セフェム系）薬の採用薬からの削除可否に係るアンケートにより院外専用薬に変更	
3	セフカペンピボキシル塩酸塩小児用細粒 10%「SW」	同上	

院外専用薬の削除

1	セフspanカプセル 100 mg、	経ロセファロスポリン（第3世代セフェム系）薬の採用薬からの削除可否に係るアンケートにより削除
2	パナンドライシロップ 5%	同上

新規試用医薬品

デュピクセント皮下注 300mg、200mg シリンジ 処方箋医薬品／生物由来製品、劇薬
（サノフィ株式会社）ヒト型抗ヒトIL-4/13受容体モノクローナル抗体 デュピルマブ（遺伝子組換え）製剤
一般名：デュピルマブ

採用理由

外来で重症アトピー性皮膚炎の小児に接種する必要があるため。必要時は初診で接種することもある。

効能効果

① 300mg シリンジ

既存治療で効果不十分な下記皮膚疾患

- アトピー性皮膚炎 ○結節性痒疹 ○特発性の慢性蕁麻疹 ○中等症から重症の水疱性類天疱瘡
- 気管支喘息（既存治療によっても喘息症状をコントロールできない重症又は難治の患者に限る）
- 慢性閉塞性肺疾患（既存治療で効果不十分な患者に限る）
- 鼻茸を伴う慢性副鼻腔炎（既存治療で効果不十分な患者に限る）

② 200mg シリンジ

既存治療で効果不十分な下記皮膚疾患

- アトピー性皮膚炎 ○特発性の慢性蕁麻疹
- 気管支喘息（既存治療によっても喘息症状をコントロールできない重症又は難治の患者に限る）

用法用量又は使用方法

〈アトピー性皮膚炎〉

通常、成人にはデュピルマブ（遺伝子組換え）として初回に 600mg を皮下投与し、その後は 1 回 300mg を 2 週間隔で皮下投与する。

通常、生後 6 カ月以上の小児にはデュピルマブ（遺伝子組換え）として体重に応じて以下を皮下投与する。

5 kg 以上 15kg 未満：1 回 200mg を 4 週間隔

15kg 以上 30kg 未満：1 回 300mg を 4 週間隔

30kg 以上 60kg 未満：初回に 400mg、その後は 1 回 200mg を 2 週間隔

60kg 以上：初回に 600mg、その後は 1 回 300mg を 2 週間隔

〈結節性痒疹〉

通常、成人にはデュピルマブ（遺伝子組換え）として初回に 600mg を皮下投与し、その後は 1 回 300mg を 2 週間隔で皮下投与する。

〈特発性の慢性蕁麻疹〉

通常、成人にはデュピルマブ（遺伝子組換え）として初回に 600mg を皮下投与し、その後は 1 回 300mg を 2 週間隔で皮下投与する。

通常、12 歳以上の小児にはデュピルマブ（遺伝子組換え）として体重に応じて以下を皮下投与する。

30kg 以上 60kg 未満：初回に 400mg、その後は 1 回 200mg を 2 週間隔

60kg 以上：初回に 600mg、その後は 1 回 300mg を 2 週間隔

〈水疱性類天疱瘡〉

通常、成人にはデュピルマブ（遺伝子組換え）として初回に 600mg を皮下投与し、その後は 1 回 300mg を 2 週間隔で皮下投与する。

〈気管支喘息〉

通常、成人及び 12 歳以上の小児にはデュピルマブ（遺伝子組換え）として初回に 600mg を皮下投与し、その後は 1 回 300mg を 2 週間隔で皮下投与する。

通常、6 歳以上 12 歳未満の小児にはデュピルマブ（遺伝子組換え）として体重に応じて以下を皮下投与する。

15kg 以上 30kg 未満：1 回 300mg を 4 週間隔

30kg 以上：1 回 200mg を 2 週間隔

〈慢性閉塞性肺疾患〉

通常、成人にはデュピルマブ（遺伝子組換え）として 1 回 300mg を 2 週間隔で皮下投与する。

〈鼻茸を伴う慢性副鼻腔炎〉

通常、成人にはデュピルマブ（遺伝子組換え）として 1 回 300mg を 2 週間隔で皮下投与する。なお、症状安定後には、1 回 300mg を 4 週間隔で皮下投与できる。

処方区分：院内処方可

長期投与の可否：対象外

薬価：（300mg シリンジ）53,493 円／筒、（200mg シリンジ）39,549 円／筒

採用薬品の処方開始は、原則として**2026年5月1日(金)**からになります。

ただし、採用中止薬、切り替え等は院内在庫薬がなくなり次第実施となりますので開始日が異なる場合があります。